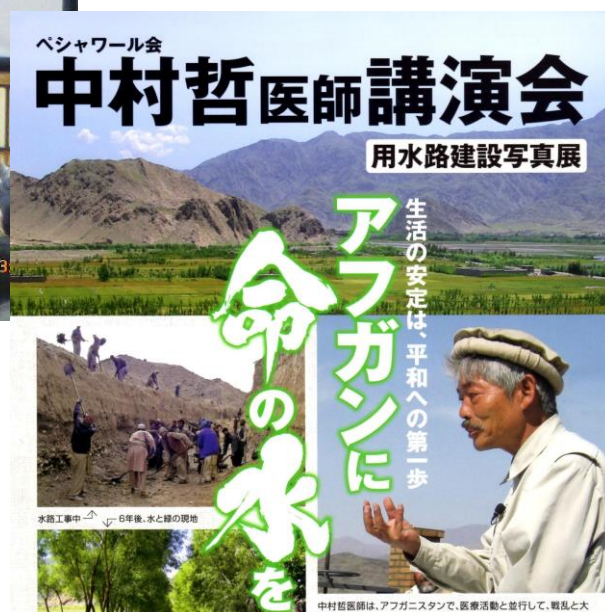


人権教育講演会（国際理解教育）

11月29日（水）、フリーランスジャーナリスト 西谷 文和（10月現在、ウクライナを訪れ活動中）に、「戦火の子どもたちに学んだこと ウクライナ、アフガニスタン取材して」という題で講演を行いました。子どもたちに戦争は、なぜ起こるのか。ウクライナで暮らす人々、子どもたちの現在の様子。そこで暮らしている「人」にクローズアップしてお話いただきました。また、アフガニスタンで用水路をつくる活動をされていた中村哲さんについてお話がありました。中村さんは、「多額の資金を費やして武器や兵士を送り込むより、同じお金を使うなら国が豊かになり戦争なんかを考えなくてもよくなるように考えたい。」との思いから、国が豊かになるようにアフガニスタンの荒れ地に用水路を作り緑を豊かにし、作物をたくさん作れるようにして豊かな国になるための礎を築きました。中村さんの功績から見えてくるものが戦争をしないための『鍵』になるのでしょうか。他にも、様々な国の戦争や紛争で傷ついた子どもたちを救う働きをしている方々を教えてくださいました。情報量が多くて生徒達はいろいろなところで引っ掛かり気づきがあったと思います。生徒たち一人ひとりの将来にも影響を与えたのではないのでしょうか。講演の後、「自分は建築を目指しているけど、役に立ちますか？」と質問をしてくれた生徒もいました。西谷さんに「本当に必要なものなのでぜひ頑張ってください」と言われ、より一層将来に向けて決意が固まったのではないかと思います。それぞれの生徒にとって将来のことを考えるためのとてもいい講演だったと思います。



写真は[中村哲医師 講演会 & 用水路建設写真展](#) | [鳥取県ユニセフ協会](#)のパンフレットより